

アルファクラブ武蔵野(株) (さいたま市大宮区)



いつ・どこからでも供養ができる

メタバース霊園「風の霊」

大手互助会のアルファクラブ武蔵野(株)は、VR事業を手がける(株)HIKKYと共同開発したメタバース霊園「風の霊」のサービス提供を開始した。

同サービスは、メタバース空間にある霊園にパソコンやスマートフォンを介してアクセスし、自身のアバターを使用して故人の供養に参列ができる。



アバターは全6種類あり、季節ごとに風景が変化する霊園内をアバターで自由に動き回ることができる。さらに霊園内に作成したマイルームでは、故人の思い出写真や動画をアップできる。さらに弔問客同士での会話も可能。

近年、葬儀の小規模化や高齢化が進み、「葬儀に参列できない」「お墓参りに行けない」というケースがふえているが、同サービスはいつ・どこからでも供養に参列できるので、葬儀後のお別れ会や年忌法要、お墓参りの場としての利用も見込んでいる。

今後は、メタバース霊園内に設置するお墓などの新サービスを順次追加していく予定。将来的には、故人の写真を3D化し、人格形成をAIに学習させ、故人の声を合成し音声化させることで、チャット型生成AIによる故人との会話を可能にするサービスも予定している。なお、同サービスの登録・使用料は無料で、今後提供する予定の一部サービスにおいて有料での提供を想定している。

TEL●048-650-3030

全国レガシーギフト協会 (東京都港区)



遺贈寄付 × 終身サポート事業

事例共有会をオンライン開催

遺贈寄付の相談窓口設置や、遺贈寄付に関するポータルサイト運営、普及啓発活動などを行なう全国レガシーギフト協会は、9月19日、終活関連事業をはじめ、金融事業、土業、メディアを対象に「遺贈寄付×終身サポート事業の事例共有会」をオンラインで無料開催し、約50人が参加した。

日本では、超高齢社会の進展に伴い、遺産を社会貢献に役立てる遺贈寄付への関心が高まっている。相続人が不在で国庫に帰属する相続財産は年間で約800億円にのぼるが、遺贈寄付実績は年間で300億~400億円(約1,000件)と関心度と実情には隔たりがある。そのため、同協会では遺贈寄付の認知度向上に努め、普及啓発活動を行なっている。

今回開催した事業共有会では、冒頭で同協会共同代表の樽本哲氏が最近の遺贈寄付事情について説明。その後、遺贈寄付での関与事例・エピソード紹介に移り、大分県大分市を本拠とする葬儀社のファイン・統括本部長の茶屋元崇喜氏が終活ビジネスモデルとの関わりについて講演し、終活と遺贈寄付との親和性や主催するイベントなどについて説明した。続いて、金融との関わりについて同協会理事の



齋藤弘道氏、土業との関わりについては、独り身の高齢者問題を解決するオーシャングループの(一社)身元保証相談士協会・代表理事の黒田泰氏が講演した。最後に、関与事例・エピソード紹介で講演した3者にコーディネーターが加わってパネルディスカッションが行なわれた。

TEL●050-5799-4522

国立歴史民俗博物館 (千葉県佐倉市)



第120回歴博フォーラム

「超高齢社会における葬儀の再構築をめざして」開催

国立歴史民俗博物館（以下、歴博）は、12月21日、東京・神保町の一橋大学一橋講堂で第120回歴博フォーラム「超高齢社会における葬儀の再構築をめざして」を開催する。

個人化が進み、超高齢多死社会へ突入した現代日本では、孤独死などで地方自治体が葬儀や死後の対応を行なうケースが急速に増加している。しかし、その具体的な対応についてその実態は明らかではなかったため、科研費「超高齢多死社会を見据えた葬儀システムの再構築」（代表：山田慎也）によって、全国を対象とした初のアンケート調査を行なった。その結果、自治体ごとに葬儀や遺骨の取り扱いなどにおいて大きく差異があることが明らかとなった。

今回のフォーラムでは、戦後の高度経済成長期以降、告別式を中心にとり行なわれていた葬儀様式と家族墓が全国的に普及していった過程を確認したうえで、1990年代以降はその形態を維持することができなくなり、死者への対応のあり方が多様化する実態を踏まえて、地方自治体が対応する死者の実態について検討する。そして、今後はどのように死を迎え、葬儀を含め、死後の対処がなされていく

のか、さらには将来に向き合う課題についても取り上げていく。

フォーラムの登壇者は、同館副館長の山田慎也氏をはじめ、名古屋学院大学准教授・玉川貴子氏、千葉商科大学教授・朽木量氏、シニア生活文化研究所代表理事・小谷みどり氏、芝浦工業大学助教・瓜生大輔氏、東北大学大学院文学研究科准教授・問芝志保氏、日本学術振興会特別研究員（PD）・大場あや氏、総合地球環境学研究所客員助教・金セツピョル氏、コメントに自治医科大学教授・田中大介氏、ものつくり大学教授・土居浩氏である。開催概要は下記のとおり。

■第120回歴博フォーラムの開催概要

日 時：2024年12月21日（土）10:00～17:00

場 所：一橋大学一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋2-1-2）

定 員：450名

備 考：聴講無料 要申込 詳細・申込みは、上記QRコードにアクセスして歴博のホームページより、または往復ハガキでお申し込みください。

出展者募集中！ フューネラルビジネスフェア 2025

会期 2025年6月4日(水)・5日(木・友引)

会場 パシフィコ横浜 (横浜・みなとみらい)

主催 総合ユニコム株式会社 **FUNERAL BUSINESS** TEL.03-3563-0043

後援 全日本冠婚葬祭互助協会 全日本宗教用具協同組合 全国霊柩自動車協会
全日本葬祭業協同組合連合会 全国石製品協同組合 国際葬儀連盟 (FIAT-IFTA)

(株)日本香堂 (東京都中央区)

25周年を迎えるお線香「かたりべ」をリニューアル
フレグランス用途のお香としても使用可能

大手薫香メーカーの(株)日本香堂は、発売25周年を迎えた「かたりべ」をリニューアルした。「お香のように心に溶けこむ」をコンセプトとし、香りの種類は既存の「ラベンダー」「白梅」に加え、「花橘」「ホワイトローズ」を新たにラインナップした。

花の香りの特徴をもとに厳選した天然精油や香原料をバランスよく掛け合わせることで、花の豊かな香りを調香師のイメージーションによって創り上げている。また、花の香りの余韻に浸りフレグランス用途のお香としても使っていただけるように、煙は少ないまま、香りの強度をお香レ



ベルに引き上げることで、残り香までしっかりと引き出すことを特徴としている。

TEL ● 03-3973-7768

メディコンソリューションズ(株) (札幌市白石区)

ご遺体搬送時の省人化・効率化を実現する

「スマート棺台レール」

各種搬送製品の設計・製作などを行なうメディコンソリューションズ(株)は、棺専用・ストレッチャー兼用の「スマート棺台レール」を販売している。

同社は、霊柩運行事業者の協力のもと棺台レールの製品化を進め、協力事業者の意見を取り入れながら改良を重ね、運転中に生じる摩擦音や振動などの課題を解決し、省人化・省力化・コンパクト化を実現するスマート棺台レールを完成させた。オプションで延長ストッパーとフリーストッパーの追加ができるほか、特大サイズや子ども用の棺にも対応可能としている。



フレームはアルミ製で、本体サイズは、幅730×長さ2,020×高さ600mm。

E-mail ● kandai@monomake.jp